

『Y.N.式咬合平面板』 説明書

PAT. 1957047

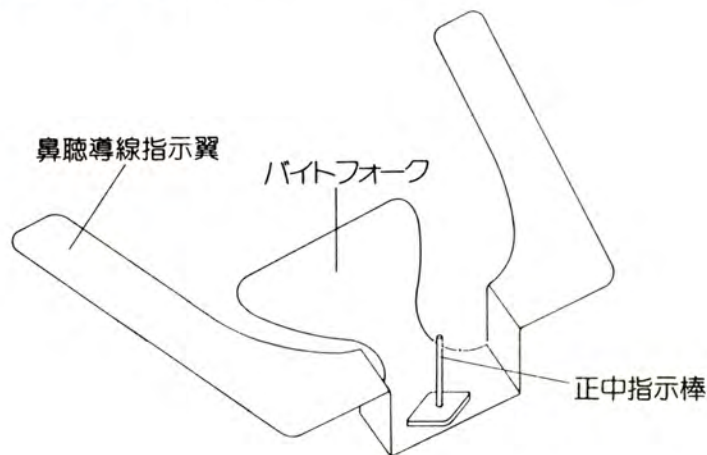
総義歯製作の過程で上顎咬合床(蠟提)を口腔内に試適し、鼻聴導線(カンペル線)と上顎蠟提の咬合との平行性のチェックは大切なポイントです。

従来は、耳珠下線と鼻下点を結んだ鼻聴導線を指示するものと、蠟提咬合平面を顔面上に示すものとの2つの器具を使用していました。

『Y.N.式咬合平面板』は、この2つの機能を同時に満たすよう工夫されています。

また、咬合平面に正中指示棒を植立することにより、上顎咬合床の水平面での傾きも容易にチェックすることができます。

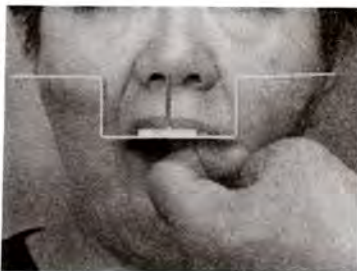
各部の名称



使用方法



- ① Y.N.式咬合平面板の鼻聴導線(カンペル線)指示翼を鼻翼下縁と外耳道に合わせながら、バイトフォークを上顎咬合堤に適合させます。その時、正中指示棒が患者の正中を示します。



- ② 鼻聴導線(カンペル線)が指示できれば、その時のバイトフォークの示す平面が患者の咬合平面となります。

 株式会社 センジヨー

大阪市旭区大宮5丁目6番12号 〒535-0002
TEL.06-6953-2341 FAX.06-6954-0080